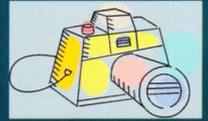


第2回「だいとれ」レポ



- 第2回だいとれジャーハンター～醍醐のお宝探し～（探す）
- 日時：2013/05/26 13:00～17:00
- 場所：醍醐いきいき市民活動センター（地下鉄東西線石田駅より徒歩10分）
- 参加者13名

前回のまち歩きはガイドさんが案内してくれたが、今回は行きたいコースを選択し、3グループに分かれ、道順や行きたいところ見たいところを自分たちで探しながら歩く。

北コース：「世界遺産を大満喫！醍醐寺、長尾天満宮コース」

真ん中コース：「醍醐の大銀座！旧商店街のにぎわいを追えコース」

西コース：「弘法大師の足跡を追え！小栗栖 杖の水コース」



「弘法大師の足跡を追え！小栗栖 杖の水コース」レポ



杖の水→小栗栖八幡宮→天穂日命神社(石田の杜)

私のグループは、地元の方3人がいたので道中では醍醐の昔話を聞きながら進みました。醍醐いきいき活動センターから小栗栖団地を越え、大岩山の近くまで行くと、「弘法大師杖の水」という文字が現れます。弘法大師がこの地を訪れたとき、杖の先で大地を突くとそこから水が溢れてきたという逸話が残っています。地元の方が丁寧に管理されている様子が見てとれました。ここで一服し、みんなで写真撮影。

次に向かったのは、**小栗栖八幡宮**。ハチの巣があるという看板があったため、奥には入りませんでした。昼間なのに薄暗かったため、少し不気味に思ってしまったのですが、地元の参加者の女性は「学校のお昼休みに友達と石段に腰かけておしゃべりしていたのよ」と、とても懐かしそうに見ていらっやいました。

最後に訪れた**天穂日命神社・石田の杜**。石造りの鳥居は珍しいことに、後ろから支柱で補強されていました。左手には**苗塚**と刻まれた石があります。この地に一夜にして苗が積まれたという由来があるそうです。また、本殿の屋根には石田や醍醐を詠んだ歌が数首飾られていました。
(文責 居藤智美)



← 天穂日命神社鳥居



→ 弘法大師杖の水



第3回「だいとれ」レポ



- 第3回だいとれレジャーハンター～醍醐のお宝探し～（極める）
- 日時：2013/6/1 13:00～17:00
- 場所：醍醐いきいき市民活動センター（地下鉄東西線石田駅より徒歩10分）
- 参加者13名

当日は幸運にも雨も降らず、暑すぎない、まさにまち歩き日和でした。リピーターの方も、初めての方も参加していただき、多彩な顔ぶれになりました。

北コース：「醍醐の便利施設が大集合！パセオダイゴローコース」

真ん中コース：「街道を攻めまくれ！新旧奈良街道コース」

西コース：「3つの路線が交差する！六地藏スクランブルコース」



「街道を攻めまくれ！新旧奈良街道コース」レポ

一言寺→ショップなかむら→パンフルート→善願寺



このグループでは、スタッフや学生のほか、参加していただいた地元の方々のお話を聞いたり、途中気になったお店にも立ち寄ったりしながら、楽しく歩きました。

新旧奈良街道はそれぞれ対照的な様子でした。**新奈良街道**は交通量が非常に多かったです、道幅が広く、歩道等も整備されて歩きやすかったです。また、新興のお店が多くあった一方で、「昔ながら」の商店街も見られました。とくに、駄菓子屋の「**ショップなかむら**」さんでは、（私も含めて）参加者の皆さんが童心に返ったように、当時から今も残る駄菓子を見つけてはしゃいでいるのが印象的でした。限られたお小遣いの中で、20円や30円のお菓子をわくわくしながら買っていたのを思い出します。さらに、「**パンフルート**」さんでも、おいしいパンを頂きました。

一方の**旧奈良街道**は道幅が狭く、歩道が整備されていないところが多く、バスも頻繁に通る点で、歩くには多少注意が必要です。しかし、旧街道ということもあって、昔の面影を残すスポットも多かったです。蔵を持つような古い建物など民家が多いのが印象的です。さらに、この街道沿いには安産祈願の**善願寺**が、街道から山の方に少し入ったところに**一言寺**があり、歴史を感じるルートでした。なにより一言寺の門前から見下ろす醍醐の街の展望は非常に良かったです。かつての旧街道沿いの景観に思いを馳せながら、歩きました。

新旧奈良街道を比較しながら、または今と昔の変わりゆく景観に注目しながら街を歩いてみると、また違った楽しみが見つけれられますね。

（文責 熊野貴文）





私の「イチオシ」カフェ



～ 絆 繋がり…みんなの手 ～

大手筋商店街1番街を南へ数十メートル。町家を改装し、木の香りが心地よい「みんなのカフェ」がオープンしました。座敷スペースあり、ウッドデッキのテラス席があり、初めて店内に入ってもほっとする空間。子どもたちからお年寄りまでいろんな年代の方がゆっくりとくつろげるスペースになっております。お店は、東日本大震災の避難者が避難者と県外避難者を支援するために発足した会『みんなの手』の運営。福島や茨城からの避難者が中心になりお店を切り盛りし

ています。Cafeのメニューは、福島や東北のおかずを取り入れた京福おばんざいランチがオススメ。こだわり野菜をたっぷり使っており味付けは薄味。疲れた身体がほっこり癒されます。枝豆をつぶし団子や餅に絡めた東北名物「ずんだスイーツ」はヘルシーでおいしい。毎日すり鉢で擦って作っているそうです。一人でも親しい友人と一緒にゆっくりと時間を過ごしたいときにお勧めのお店です。

～ 「みんなのカフェ」お店情報～

所在地：京都市伏見区両替町 4-319 電話：075-632-9362

アクセス：京阪伏見桃山駅下車 徒歩2分 営業時間：9:00～17:00 定休日：日曜日

2013.05.29 05:44 Wed Copyright FUSHIMICHELIN フシミシュラン All Right Reserved.

(参考文献「フシミシュラン」一部付け加えあり)

フシミシュランのアドレス：<http://fushimichelin.blog.fc2.com/>



メンバー募集

「伏見歩き隊」は、2011年11月に、「伏見の歴史と文化」をまち歩きやまちゼミを行うことによって、学んでいこうという趣旨で結成しました。紙媒体(まちゼミ通信)やWebを使って、伏見の魅力をひろく内外に情報発信していく…。伏見の魅力を発見し、伏見をもっと魅力的なまちにしたいと思っている方、一緒に活動を始めてみませんか？谷口まで電話かFAXもしくは、「伏見歩き隊」の公開用fbページor非公開用fbまでアクセスして下さい。

連絡先：075-603-3595

【編集後記】こんにちは。蒸し暑い夏がやってまいりました。私たち伏見歩き隊の活動スケジュールも確定してきたので、随時皆様にお知らせしていきます。先日、補助金の審査会があり、伏見歩き隊の事業についてプレゼンテーションをした結果、無事に審査を通ることができましたことを報告致します。編集：伏見歩き隊 tomomi



伏見区区民活動支援採択事業の支援を受けてこの広報誌を作成しました。